

第3種郵便物認可

児童養護施設「釧路まりも学園」の後援会

会員減少 加入呼び掛け

卒園者の進学支援を

親がいない子供や家庭の事情で親と暮らせない子供が入所する児童養護施設を運営する「釧路まりも学園」の後援会(斎藤孝次会長)の会員数が減少している。法人、個人を合わせて現在260と、後援会活動を再開した13年前から約40減った。後援会は会費を集めて専門学校や大学に進学する卒園者を支援しており、同学園はより幅広い援助ができるようにと、新規加入を呼び掛けている。

(中野訓)



後援会は1981年に設立された後にいったん活動を休止し、2006年に市内の経済人や市民らが参加して再開した。活動再開後、しばらく会員数は300を超えていたが、徐々に減少してきた。

同学園は釧路、根室管内で児童養護施設を運営する唯一の法人で、釧路市内後援会の会員数が減少している釧路まりも学園

の2施設で計46人の子供が暮らしている。児童福祉法上、子供は原則18歳で退所しなくてはならない。退所後は就職するケースが大半で、進学した卒園者は現在3人。それぞれ1人暮らしや親族と同居しながら、専門学校や看護学校で学んでいる。

日本学生支援機構から受けられる月額7万円前後の奨学金だけでは生活費は足りず、3人に対し、後援会が1人当たり数万円を支援している。同学園の高橋昌志園長は「できるだけアルバイトをせずに、勉強に集中できる環境を整えたい」と語る。

後援会の年会費(10)

は法人1万円、個人3千円。高橋園長は「自分の夢をかなえようと本気で進学を考える子供が増えてきた時のために、1人でも多く会員になってくれるとありがたい」と語る。問い合わせは同学園☎0154・91・3120へ。